

潮流計

JLN-652

JRC



新しい240kHz高周波潮流計が漁獲量の増加に威力を発揮します

- 潮流ベクトルの深度方向への重畳による独自の3D多層表示が可能
- クラス初、湧昇流の計測に対応
- 表層から100mを超える深度まで最大50層の潮流を連続計測可能
- 海底の隆起に合わせて自動的に海底近傍の潮流を計測するボトム ロック搭載
- 使いやすい専用操作部を採用

JLN-652

特長

JLN-652は多彩な機能と優れた性能をコンパクト設計で省スペースなユニットに組み込み、正確に素早く船速・潮流データを提供するマルチファンクション潮流計です。

多層表示モード

多層表示モードに設定すると、水深に合わせた潮流ベクトルを重ね合わせて立体的にグラフィック表示することができます。流速に比例した半径の円が重畳表示されますので、潮流の揺らぎ（流速の強弱）やねじれ（流向の変化）が直感的に把握できます。この優れた機能により投網の可否判断や水中における網の形状予測が格段にやすくなりました。



湧昇流計測

JLN-652ではお客様から寄せられたご要望にお応えして、このクラスの潮流計としては初めて湧昇流計測機能を組み込みました。水中での網の深さの調節や中間層での潮流による網の形状変化の予測などに特に有効とされる上下方向への潮の流れを正確に計測できます。

最大50層までの連続潮流計測

JLN-652は潮流ベクトルを最大50層まで連続的に計測し表示することが可能です。4方向にビームを送信して潮流計測を行う任意の5層(A,B,C,D,E)を指定することで、指定された5層の深度に従って50層が自動的に設定されます。設定された50層から任意の層を選択すれば対応する深度での計測内容を確認することができます。また、潮流ベクトルの表示方法はノースタップ：真北基準^{*1}とヘッドアップ：船首基準のいずれかが選択可能です。

高度な海底追尾

JLN-652は約250m²までの海底を起伏に応じて自動的に追尾する海底追尾機能により、絶対潮流(海底を基準とする流向と流速)を安定して測定することができます。海底深度が追尾限界を超えた場合は、設定に従って自動的に対水追尾モードもしくはGPSデータを使用した追尾モードに切替わります。

ボトムロック

E層の計測深度をBTM(ボトムロック)に設定すると、計測深度が海底の起伏に追従して自動的に変化し(海底深度の約80%)、常に海底近傍の潮流を計測することができます。

*1: 方位センサーからの船首方位データの入力が必要です。

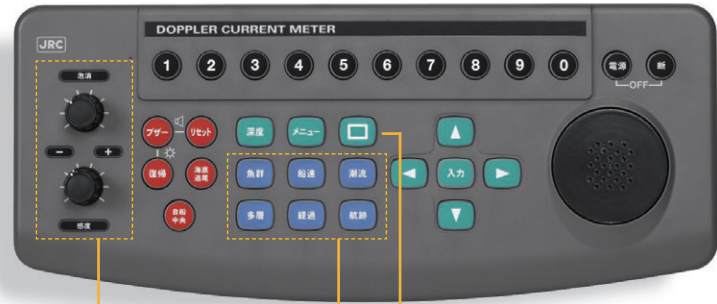
*2: 海底追尾可能な最大水深は、海況や底質によって変化します。

JLN-652

優れた操作性

使いやすい専用操作部

JLN-652の専用操作部は、人間工学に基づき機能的に分類・配置されたキーと感度・泡消ボリューム、そして素早い反応でストレスの無い快適な操作性を提供します。また豊富な表示モードも専用キーで簡単に選択できるほか、多岐に渡るメニュー設定もJRC独自のフレーム選択キーで、変更したい項目にすばやくアクセスすることができます。



泡消/感度設定

フレーム選択キー

表示モード選択キー

魚群画面モード

JLN-652は魚の探知が容易に行えるよう4方向表示、前方左右の2方向表示、1方向のみの表示から適当な表示画面が選択できます。また、一般的な魚群探知機と同様に魚種や海象に合わせて、感度調節を行うだけで表示画面の調節が行えます。

警報機能

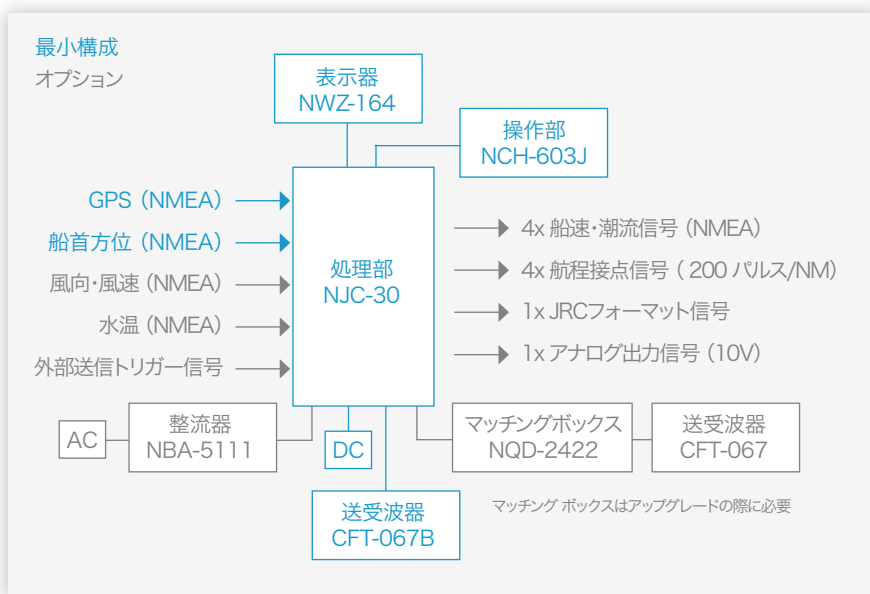
JLN-652には計測結果に基づき発生する様々な警報機能が内蔵されています。いずれの警報も計測した値が予め設定したしきい値を超えた場合にアラーム音と画面のメッセージにより通報し、ユーザーの安全確保や効率的な漁をサポートします。

高精細表示対応

JLN-652潮流計は他に類を見ない高い精度でデータを計測するだけでなく、潮流解析にとっても効果的な1024x768(XGA)の高解像度のモニター出力を提供します。

装備場所を選ばない ユニット構成

JLN-652は、ブラックボックスタイプの信号処理器を中心とし、表示器(オプション)・操作部・送受波器の4ユニットで構成され、狭いスペースの中でも自由度の高い装備が可能です。なお、独自の表示器での使用をご希望の際はXGA解像度表示に対応するものであればメーカーやサイズを問わず、接続することができます。

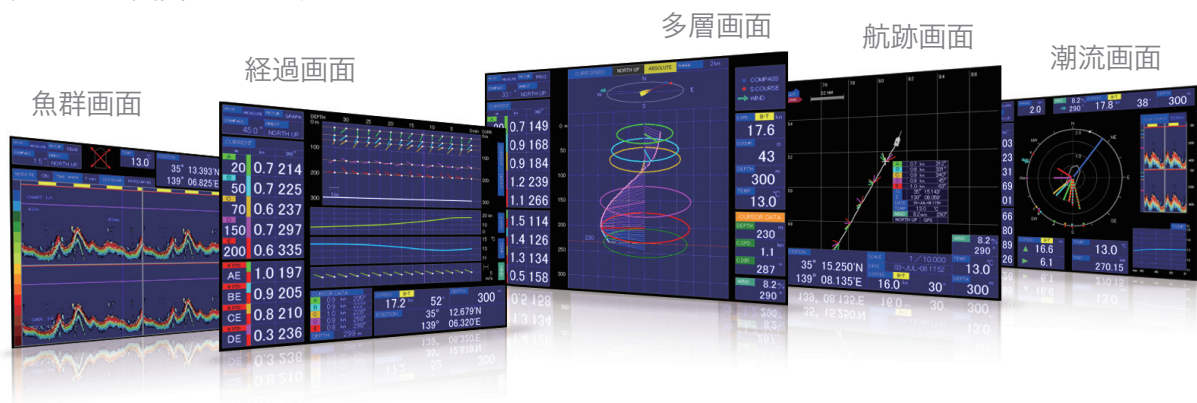


JLN-652

柔軟性

豊富な表示モード

JLN-652は潮流データを効率よく分析できるよう16種類もの表示モードを備え、直感的で読み取りやすい画面表示を提供します。



アップグレード対応

JLN-652の標準構成機材は最小限のものに限定しています。それにより、左記モデルから簡単にアップグレードすることができます。新規装備の際も送受波器と装備の際に必要な周辺機材をオプションから選択するだけです。



ユニット	JLN-627H	JLN-628	JLN-628C
送受波器	流用	流用	流用
表示器	換装	換装	流用
操作部	追加	追加	換装
処理部	追加	追加	追加
マッチング ボックス	追加	追加	追加

豊富なインターフェイス

JLN-652は様々な種類の航法装置と容易に接続可能な複数のシリアル(NMEA)ポートとUSBポートを備えています。市販のUSBメモリーに自船航跡や潮流ベクトルデータをコピーしたり、過去にコピーしたデータを再ロードして確認することができます。

標準構成品

- ・ 処理部
- ・ 操作部
- ・ マニュアル類
- ・ 予備品

オプション

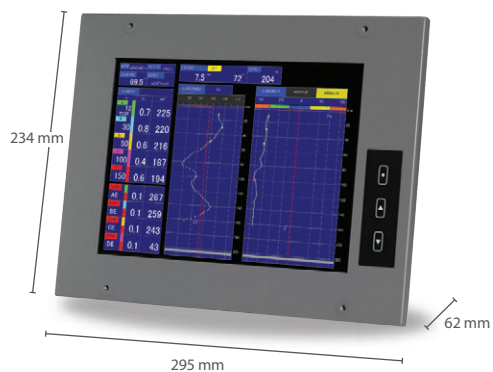
- ・ 送受波器 (25m ケーブル付き) CFT-067B
- ・ 船底用貫通金具 (鉄/FRP) MPJD30076/MPJD30078
- ・ 貫通金具付送受波器 NKF-779
- ・ 貫通金具付送受波器 + 鉄製タンク NKF-780
- ・ マッチング ボックス NQD-2422
- ・ 15インチ表示器 NWZ-164
- ・ 15インチ表示器用架台 MPBX42944
- ・ 15インチ表示器用サンバイザー MPOL30369
- ・ 10.4インチ表示器 NWZ-211
- ・ 操作部用延長ケーブル (10m) CFQ-6999
- ・ 整流器 NBA-5111

JLN-652

寸法・質量

10.4インチ表示器(オプション)

NWZ-211 質量 4.5kg



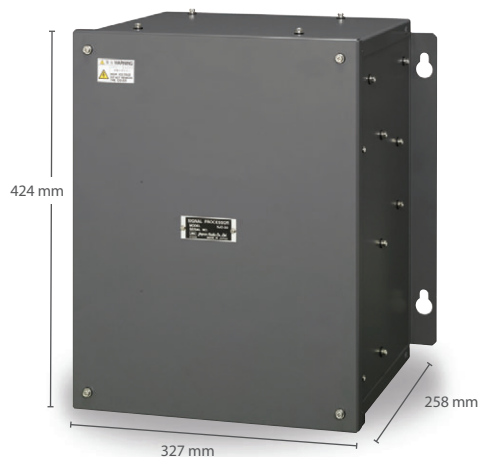
15インチ表示器(オプション)

NWZ-164 質量 3.7kg



処理部

NJC-30 質量 16kg



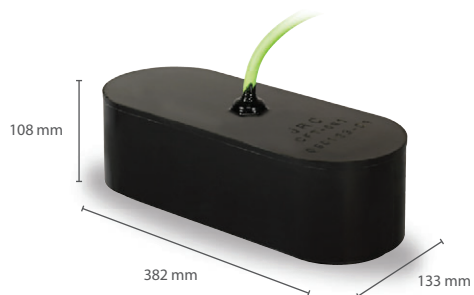
操作部

NCH-603J 質量 1kg



送受波器(オプション)

CFT-067B 質量 25kg



整流器(オプション)

NBA-5111 質量 15kg



JLN-652

仕様

機種		JLN-652
総合仕様		
動作方式	2軸デュアルビームパルスドップラー	
周波数	240kHz	
表示解像度	1024 x 768 ピクセル (XGA)	
電源仕様	DC21.6 ~ 31.2V (AC100 ~ 230V オプション)、消費電力: 270VA 未満	
環境条件	動作温度: -15 ~ 55°C、相対湿度: 0 ~ 93% (但し結露しないこと)	
潮流計測性能		
流速測定範囲	0 ~ 10kn (精度 ± 2%rms または 0.2kn のいずれか大きい方)	
流向表示	全周 360°、数値および 32 点方位表示	
測定層数	最大 50 層 (数値表示は任意 5 層)	
測定層深度	2 ~ 30m (浅海モード)、12 ~ 100m (標準モード)、最大深度: 200m ^{*1}	
測定可能水深	最低深度: 5m、最大深度: 350m ^{*1}	
深度設定	2 ~ 500m	
潮流基準	ドップラーまたは GPS	
船速計測性能		
前後測定範囲	-10 ~ 40kn (精度 ± 1%rms または 0.1kn のいずれか大きい方)	
左右測定範囲	-10 ~ 10kn (精度 ± 1%rms または 0.1kn のいずれか大きい方)	
測定可能水深	対地: 5 ~ 250m、最大深度: 350m ^{*1} 、対水: 10m 以深 (対地・対水船速同時表示)	
航程積算範囲	0 ~ 99,999.99NM (精度 ± 1%rms または 0.1kn のいずれか大きい方)	
自動海底追尾機能	搭載	
主要機能		
機能	潮流測定、船速測定、水深測定、魚群探査、航跡プロット、経過表示、多層表示、自己点検、警報機能	
表示モード	潮流、船速、航跡、経過、魚群、多層	
警報	流速、船速、水深、トリップ、タイマー、水温、風速	
入出力信号		
NMEA 入力 (v1.5 - 3.01)	方位: HDT、VHW、HDM、HDG、THS 船速: RMC、VTG 緯度経度: RMC、GGA、GLL 水温: MTW 風向風速: MWD、MWV	
NMEA 出力 (v2.3 / 3.01)	VDVBW、VDVLW、VDVHW、VDDBT、VDDPT、VDCUR、PJRC (船速潮流データ)	
外部トリガー入力	受信干渉除去用外部送信トリガー信号	
航程出力	4x 航程接点信号 (200 パルス/NM)	
JRC 出力	JRC フォーマット (潮流データ出力)	
記憶データ出力	USB/CF カード (最大 1000 ポイントの潮流および航跡データを保存可能)	

*1: 測深可能な水深は、海況や底質によって変化します。

※外観・仕様などは、予告なく変更することがあります。



注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。



日本無線株式会社

JRCウェブサイト <http://www.jrc.co.jp/>

本社事務所 〒164-8570 東京都中野区中野4-10-1 中野セントラルパークイースト
海上機器営業部 ☎(03)6832-1807 (ダイヤルイン)

北海道支社 〒060-0003 札幌市中央区北3条西7-1 北海道水産ビル ☎(011)261-8339 (直通)
東北支社 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-1 アゼリアビル6F ☎(022)781-6173 (直通)
中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-25 清風ビル ☎(052)959-5901 (代表)
関西支社 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-28 ☎(06)6344-1633 (直通)
九州支社 〒812-0025 福岡市博多区店屋町1-31 博多アーバンスクエア ☎(092)262-2141 (直通)
三鷹製作所 〒181-8510 東京都三鷹市下連雀5-1-1 ☎(0422)45-9111 (案内)
稚内 釧路 函館 青森 八戸 秋田 盛岡 福島 新潟 長野 埼玉 神奈川
静岡 焼津 金沢 福井 岐阜 神戸 松江 広島 境港 山口 高松 高知
徳島 愛媛 長崎 佐賀 大分 熊本 宮崎 鹿児島 那覇 シアトル ニューヨーク
アムステルダム アテネ ハンブルグ マニラ シンガポール 台北 ハノイ ジャカルタ
上海 リオデジャネイロ

42JM

2014年10月作成

ISO9001, ISO14001 認証取得

© 2014.10 CAT.No.G166 (No.462-1-2) D